

「グローバル教育」が我が西大寺高校でも実施されている。例えば、英語での下校放送や体育祭でのスタートコール、校内掲示の英語表記化やオリジナル授業などだ。

しかし、これらが私達のモノになっているかはあやしいところである。まずこの教育目標に掲げられているグローバルとは何のことなのか。

そこを理解することから始めなければいけない。そこで、新聞部は西大寺高校の「グローバル教育」について三善

真のグローバル教育とは

ローバルのグローブとは地球という意味であり、西高の「グローバル教育」も地球のことを考える、「地球教育」

校長にお話をうかがった。

「まず、グローバル教育といえは英語教育のことだと思われがちだが、グ

であるべきだ」と説明があった。

「また、西高のグローバル教育のキーワードは『つながる』である。それは、

社会貢献活動やコミュニケーションの授業を通して、地域と生徒、生徒と生徒がつながることであり、今後の取り組みとしては、生徒の目に見える形で生徒と教員のグローバルについての意識が広がっていくことである」と説明が続いた。新聞部としても、学校全体での『つながる力の向上』に貢献したい。